

クローン病の活動性診断における血清ロイシンリッチ α 2糖蛋白のカットオフ値の決定に関する研究に関する研究

1. 研究の対象

2020年8月～2021年5月に秋田大学医学部附属病院に通院したクローン病患者さん

2. 研究目的・方法

目的：クローン病の疾患活動性に対するロイシンリッチ α 2糖蛋白(LRG)の最適なカットオフ値(正常と異常の区切りの値)を決定することです。

方法：国内のクローン病診療施設のデータを統合して名古屋大学大学院医学系研究科生物統計学講座(主施設)で解析を行う。当施設は以下に記す情報の提供のみを行います。

研究実施期間：研究実施許可日～2024年12月1日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2024年7月24日

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、病歴、手術歴、投薬歴、内視鏡的疾患活動性、腸管のびらん・潰瘍・狭窄・瘻孔の有無、罹患部位(小腸型・大腸型・小腸大腸型)、肛門病変の有無、採血データ(LRG、C-reactive protein (CRP)、albumin、AST/ALT、Hb)など

4. 外部への試料・情報の提供

情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、電子的配信により名古屋大学大学院医学系研究科生物統計学講座へ提供します。対照表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究機関

名古屋大学大学院医学系研究科 生物統計学 教授 松井茂之(研究代表者)
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科消化器連携医療学 講師 竹中 健人
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科消化器連携医療学 准教授 藤井 俊光
福岡大学医学部 消化器内科学講座 教授 平井 郁仁
福岡大学医学部 消化器内科学講座 講師 芦塚 伸也
社会医療法人警和会 大阪警察病院 副院長・消化器内科部長 飯島 英樹
滋賀医科大学医学部 基礎看護学講座(生化学・薬理学・栄養学) 教授 馬場 重樹
富山大学 炎症性腸疾患内科 特命教授・IBDセンター長 渡辺 憲治

既存試料・情報の提供のみを行う機関

四日市羽津医療センターIBD センター 山本隆行
東北大学病院 消化器内科 病院講師 志賀永嗣
岡山大学大学病院 炎症性腸疾患センター 平岡佐規子
東京女子医科大学 消化器内科 大森鉄平
秋田大学医学部附属病院 下平陽介

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

下平 陽介
秋田大学医学部附属病院 消化器内科
〒010-8543 秋田市広面字蓮沼 44-2
TEL：018-884-6104 FAX：018-836-2611

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科 生物統計学 教授 松井茂之

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科
研究科長 羽渕 友則